

# 令和5年度 年間普及活動計画書

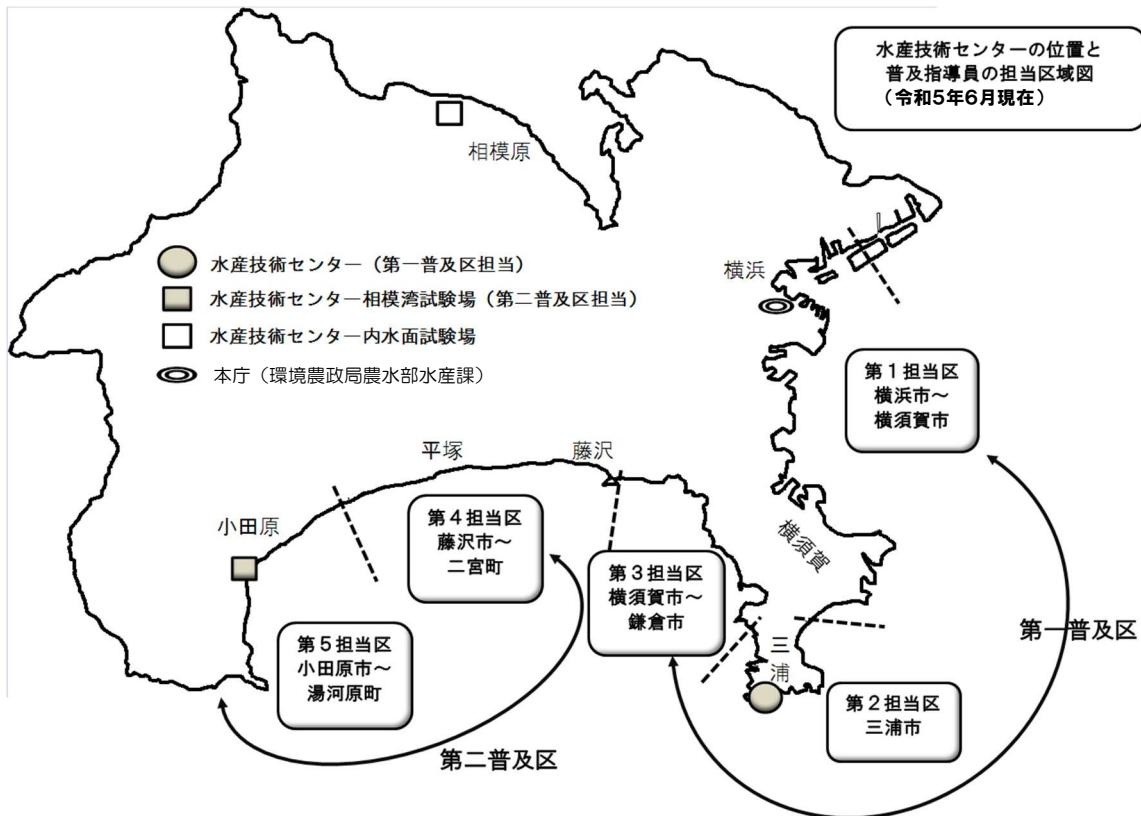
## I 水産業改良普及事業実施方針

本県沿岸漁業の生産性の向上、漁業経営の近代化及び漁業生産技術の改良を図るため、沿岸漁業等の就業者に技術及び知識に関する普及指導を行い、その自主的活動を促進するとともに、優れた経営感覚をもつ漁業者を育成して沿岸漁業の振興を図る。

## II 年間普及活動計画

普及事業を的確かつ円滑に進めるため、かながわ水産業活性化指針に掲げられた重点的に取り組む施策並びに担当区域ごとの課題を把握し課題解決に向けた普及活動の対象等を検討し、年間普及活動計画を作成する。

## III 普及区及び担当区



## IV 普及活動計画

普及区	第1普及区第1担当区	担当普及員	渡邊 芳明
1 管内漁業の概要			
地理	横浜市～横須賀市 (東京湾側)		
漁業協同組合	生麦子安漁業連合組合、横浜東漁協、横浜市漁協、横須賀市東部漁協		
漁業者数	549名 (令和5年3月)		

県域漁業者団体等	神奈川県小型機船底びき網漁業協議会、神奈川県あなご漁業者協議会、神奈川県漁業士会
主要漁業種類及び対象魚種	小型機船底びき網（タチウオ、スズキ、マアナゴ）、あなご筒（マアナゴ）、刺網（マコガレイ）、まき網（スズキ、いわし類）、一本釣り（さば類、マアジ）、たこ壺（マダコ）や海藻養殖（ノリ、ワカメ、コンブ）等が営まれている。

## 2 管内漁業の課題と将来ビジョン

管内漁業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京内湾の貧酸素水塊の発生時期の長期化や有機物の堆積による汚染等によるシャコ、マコガレイやマナマコ資源が減少し、魚類資源（タチウオ等）への漁獲圧の増大による資源の減少が懸念されている。</li> <li>・海水温の上昇等による海藻養殖の不振、磯焼け等、環境の変化による漁獲量の減少が懸念されている。</li> <li>・高齢漁業者の廃業による組合員の減少が、漁協経営の悪化や海藻養殖業等の共同作業を困難にしており担い手の確保が必要とされている。</li> <li>・若手漁業者の減少により青年グループによる活動が後退している。</li> </ul>
将来ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依存度の高いタチウオやマアナゴ等の資源の有効活用を図り、現状の水揚げ水準を確保する。</li> <li>・フリー配偶体による、高水温耐性など環境の変化に対応した藻類の増養殖やシングルシード技術による二枚貝養殖などの無給餌養殖の増殖を図る。</li> <li>・低利用資源の活用や6次産業化を進めて、経営の多角化を図る。</li> <li>・新規就業者の増加を図る。</li> </ul>

## 3 普及指導課題

課題	普及指導課題	指導対象
漁業就業者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就業者の着業と定着化の支援</li> <li>・新技術導入・経営改善指導</li> <li>・漁業者グループの活動支援</li> <li>・制度資金の指導</li> <li>・漁業士認定業務</li> <li>・漁業者交流大会の開催</li> </ul>	新規就業者
資源管理及び資源管理型栽培漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タチウオ、マアナゴ等の資源管理と研究支援</li> <li>・マナマコ・トラフグ等の資源管理</li> <li>・海藻養殖指導</li> <li>・種苗放流指導</li> <li>・中間育成指導</li> <li>・アカモク及びカジメの増殖試験と資源管理</li> </ul>	小底漁業・あなご筒漁業・海藻養殖
漁場環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧酸素水塊調査の結果報告</li> <li>・貝毒プランクトンの結果報告</li> <li>・無給餌養殖の推進（海藻、二枚貝）</li> <li>・漁海況情報の提供と指導</li> </ul>	横浜市漁協 横須賀市東部漁協
付加価値向上による経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売所の支援</li> <li>・ブランドに関する指導</li> <li>・低利用資源の加工販売推進</li> </ul>	横浜市漁協 横須賀市東部漁協
経営対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無給餌養殖の推進（海藻、二枚貝）</li> <li>・経営相談に対する対応</li> <li>・制度資金の利用への支援</li> <li>・漁業従事者の雇用への支援</li> <li>・新たな漁獲対象魚種への取組支援</li> </ul>	横浜市漁協 横須賀市東部漁協

普及区	第1普及区第2担当区	担当普及員	山田 佳昭
-----	------------	-------	-------

### 1 管内漁業の概要

地理	三浦市
漁業協同組合 漁業者数	みうら漁協、三和漁協（初声支所、城ヶ島支所、上宮田支所） 1,211名（令和5年3月）
県域漁業者団体等	神奈川県漁業士会、神奈川県小釣漁業連絡協議会、神奈川県しらす船曳網連絡協議会、神奈川県定置網研究会
主要漁業種類及び対象魚種	一本釣り（キンメダイ、さば類）、定置網（マアジ、さば類、カタクチイワシ）、刺網（ヒラメ、イセエビ、サザエ）、みづき（アワビ、サザエ）、潜水（アワビ、サザエ）、海藻養殖（ワカメ、コンブ）等が営まれている。

### 2 管内漁業の課題と将来ビジョン

管内漁業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼けによるアワビ等磯根資源の減少。</li> <li>・沿岸サバ類やキンメダイ等底魚資源の減少。</li> <li>・餌いわし類定置の漁獲低迷と老朽化。</li> <li>・高水温、食害、養殖期間の短期化等によるワカメ養殖の不振。</li> <li>・アマモ場、ガラモ場の減少など漁場環境の劣化</li> <li>・高齢化により漁業者が減少する一方で、基幹漁業の不振により、後継者や外部参入者の定着が難しい。</li> </ul>
将来ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼け対策を実施することで健全な藻場の維持を図り、アワビ、サザエ等の資源確保に努める。</li> <li>・漁連の担い手育成支援や県水産課の漁業就業支援等の事業を活用して支援することにより、新規漁業就業者の増加を図る。</li> <li>・新たな水産資源（チョウセンハマグリ等の二枚貝）の増養殖を促進するとともに、6次産業化を進めて、経営の多角化を図る。</li> <li>・高水温化により被害が甚大となるワカメの食害対策を講ずるとともに高水温耐性や成長の早いなどの特徴を持つワカメ種苗の開発を行うことで養殖業の経営の安定化を図る。</li> </ul>

### 3 普及指導課題

課題	普及指導課題	指導対象
漁業就業者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就業者の着業と定着化の支援</li> <li>・新技術導入・経営改善指導</li> <li>・漁業者グループの活動支援</li> <li>・制度資金の指導</li> <li>・漁業士認定業務</li> <li>・漁業者交流大会の開催</li> </ul>	新規就業者
資源管理及び資源管理型栽培漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海藻養殖への技術支援（食害対策等）</li> <li>・アワビ、サザエ資源管理の推進</li> <li>・二枚貝漁業・増養殖（マガキ、チョウセンハマグリ等）の支援</li> <li>・キンメダイ資源管理</li> <li>・種苗放流指導</li> <li>・神奈川県小釣漁業連絡協議会の支援</li> </ul>	みうら漁協 三和漁協
漁場環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼け対策の推進（食害生物駆除等の指導）</li> <li>・アマモ場の再生に係る支援</li> <li>・キンメダイ、さば類等の資源情報の提供</li> <li>・漁海況情報の提供と指導</li> </ul>	みうら漁協 三和漁協
付加価値向上による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次化認定申請補助</li> </ul>	みうら漁協

経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協直営食堂・販売所の支援</li> <li>・ブランド認定申請補助</li> <li>・低利用資源の加工販売推進</li> </ul>	三和漁協
経営対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営相談に対する対応</li> <li>・制度資金の利用への支援</li> <li>・漁業従事者の雇用への支援</li> <li>・新たな漁獲対象魚種への取組支援</li> </ul>	みうら漁協 三和漁協

普及区	第1普及区第3担当区	担当普及員	荻野 隆太
-----	------------	-------	-------

### 1 管内漁業の概要

地理	横須賀市（相模湾側）～鎌倉市
漁業協同組合 漁業者数	長井町漁協、横須賀市大楠漁協、葉山町漁協、小坪漁協、鎌倉漁協、腰越漁協 682名（令和5年3月）
県域漁業者団体等	しらす船曳網連絡協議会、漁業士会、小釣漁業連絡協議会
主要漁業種類及び対象魚種	大型・小型定置網（イワシ、アジ、サバ）、まき網（イワシ）、しらす船曳網漁業、刺網（イセエビ、サザエ、カワハギ、ヒラメ）、たこかご、一本釣（カツオ）、潜り・見突き（アワビ・サザエ・ナマコ）、海藻養殖（ワカメ・コンブ、海ブドウ）、採介藻（ワカメ・ヒジキ）などが営まれている。

### 2 管内漁業の課題と将来ビジョン

管内漁業の課題	<p>(1) 漁獲量減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水温上昇や大型魚の餌となるカタクチイワシの減少に伴い定置網、しらす船曳網、刺網、一本釣漁の漁獲量の減少が著しく、季節別に獲れる筈の魚が獲れない。一方で、西方から来遊する鯖、トラフグ、ハタ類や、ハマグリやサクラエビ等、増えている魚種もある。</li> <li>・漁獲量が減少する中で生産性を向上させるには、①ブランド化等による販売促進や魚価向上、②未利用・低利用資源の有効活用、③新たな漁獲対象種の開拓や増養殖等が必要である。</li> </ul> <p>(2) 磯焼け対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化、冬場の海水温上昇により、藻食性魚類のアイゴやウニ類が増加し、①海藻の減少(磯焼け)によるアワビ・サザエ等の磯根資源の枯渇、②養殖ワカメでは水温上昇に伴う生育不良とアイゴの食害対策、普及指導を通じて各浜の漁業者の新たな収入源となった③アカモクも相模湾側では激減し、増加傾向にある東京湾の生産者に依存している。</li> </ul> <p>(3) 担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進む一方、担当区では定置網やしらす漁等の就業を経て漁業外からの新規漁業参入者も多い。①自立経営～生産性向上のための指導・支援、②漁業就業促進センターや漁業体験を通じたマッチングなど</li> </ul> <p>(4) アフターコロナ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍では料理店等の需要不振で魚の魚価安と消費が減退しトラフグやアワビ等の高級魚の魚価安が顕著であったが、巻き返しを図る。</li> </ul>
将来ビジョン	<p>(1) 漁獲量減少</p> <p>ア ブランド 「相模のとらふぐ」や「佐島の地だこ」のブランド力を活かしたPRを通じた知名度向上～消費拡大に伴う魚価向上を目指す。 鎌倉はまぐり、かながわのあかもく、かながわブランド申請令和6年。 今年度から準備 PR強化～HP開設 直売や地元料理店での取扱促進。</p> <p>イ 未・低利用資源の有効活用：増加傾向にあるウツボの有効活用 ウ ハマグリ増殖～新たな漁獲対象に</p>

	<p>各浜の状況に合わせて特採調査。漁具・漁法と資源増殖管理指導 鎌倉では、貝桁による放流歩金(漁獲1個に対し6-8倍の種苗を撒ける、 獲るほど増える仕組み)により、更なる増殖を図る資源増殖管理型漁業 を実践。鋤簾や貝桁で収益がある地区では、実績を踏まえて部会組織化 ～同様な資源増殖管理手法を指導。</p> <p>&lt;ハマグリ普及の手順&gt; 漁具漁法指導～稼げる漁の実績と販路開拓 → 稚貝調査で再生産確 認 → 資源管理部会結成 → 放流歩金設定 → 更なる増殖 エ カキ短期養殖の試行 ワカメ養殖筏設置の11～5月(台風回避)に中 間育成種苗を用いた短期養殖試験を試行(小坪、鎌倉)。 現状の実績(半年で収益率3.2倍)を5倍まで高める育成方法を模索 オ その他 サバ短期養殖、養殖昆布を用いたサザエ短期養殖</p> <p>(2) 磯焼対策 ア 海藻の減少(磯焼対策); 予算と人力的に負担が少なく効果的な手法 の普及～定着。①ウニ駆除は効果があるので、各浜の素潜りウニ潰しを 支援、②資源管理課が生産するアラメ・カジメ種苗を使った増殖、③ア ワビ種苗の生残率を高める放流方法を指導、④ハマグリやカキ等、磯焼 けに左右されない二枚貝増・養殖指導、⑤伐採木を活用したアオリイカ 産卵礁設置等。 イ 温暖化及び食害対策の一環で、ワカメ種苗種挿しの時期が遅れてお り、高水温化でも成長の早いワカメ種苗の開発が求められている。 食害対策は各浜で聴取した要点の普及、食害対策ネット設置試験等 ウ アカモク 東京湾側のアカモクの資源管理(種付雌株保護や口開け、 保護区の設定)と製品化～販売促進支援による生産性向上(生売り@ 200×2t=茹刻み製品@3000×130kg 生産効率15倍)、アカモク増養 殖試験(資源管理課と連携)、アカモク増殖はブルーカーボンとマッ チング エ 新規就業者を募集する漁業者(親方) 漁業塾・体験等を通じたマッチング</p> <p>(3) 担い手対策 ア 外部からの新規参入者 自立経営や収益向上のための指導・支援→改善資金活用促進、簡易に 取り組める漁具・漁法指導(太刀魚曳釣・ハマグリ鋤簾等)、他地区の新 規参入者との交流促進、視察や情報交換(腰越定置網)等 イ 新規就業者を募集する漁業者(親方) 漁業塾・体験等を通じたマッチング</p> <p>(4) コロナ対策 アフターコロナ; 漁業者の直売所や地元密着型量販店での販売促進支 援、高級食材トラフグやハマグリ等のPR強化による魚価向上</p> <p>&lt;現場ニーズと研究のマッチング&gt; ハマグリ種苗生産、磯焼け対策の早熟カジメとアラメの増殖、ワカメ食 害対策と温暖化に対応した品種改良、アカモク・ヒジキ増殖用の種苗生 産、トラフグ産卵親魚を用いた新たな種苗生産技術開発と標識放流によ る回遊動向把握、サバ短期養殖等、要試験研究課題や研修会、現地視察等 を通じて、現場ニーズと研究テーマのマッチングを図る。</p>
--	---

### 3 普及指導課題

課題	普及指導課題	指導対象
漁業就業者の育成・ 確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の漁業体験を通じた<b>新規就業と定着支援</b></li> <li>・ 漁業就業セミナーや漁業体験事業の効率化</li> <li>・ 雇用型漁業(定置網、しらす等)と兼業できる</li> <li><b>初期投資や経費が少ない漁法や対象種の普及</b></li> <li>・ <b>年間対象魚種と経営計画と制度資金活用指導</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規漁業就業者</li> <li>新規就業者を募集す る漁業者</li> <li>新規漁業就業希望者</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元以外の他地区の外部参加者との交流促進</li> <li>・県漁連の新規就労者募集や担い手支援事業の普及</li> </ul>	
資源管理及び資源管理型栽培漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハマグリ分布状況・再生産調査、漁具・漁法指導、調査結果を踏まえ資源増殖管理指導</li> <li>・ハマグリ部会組織化～資源増殖管理計画策定</li> <li>・サバ短期養殖試験情報交換</li> <li>・カキの中間育成種苗を用いた短期養殖試行</li> <li>・海ぶどう養殖マニュアル化と普及</li> <li>・アカモク資源管理と増養殖指導</li> <li>・生残率を高める種苗放流方法指導</li> </ul>	鎌倉・腰越・小坪・大楠  長井 小坪・鎌倉 小坪 全県繁殖地 全県
漁場環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易且効果的な磯焼対策手法指導・ウニ駆除</li> <li>・早熟アラメ・カジメ種苗を使った増殖</li> <li>・効果的なアオリイカ産卵礁設置指導</li> <li>・小田和湾の漁業振興</li> <li>・ハマグリ生息(増殖)域の底質環境調査と監視</li> </ul>	長井・大楠 長井・小坪・鎌倉 長井・葉山・小坪 長井・佐島 ハマグリ生息地
付加価値向上による経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相模のとらふぐ」ブランドPR</li> <li>・「佐島の地だこ」ブランドPR</li> <li>・鎌倉はまぐりのブランド・新名産品化</li> <li>・かながわのあかもく ブランド化</li> <li>・地域の料理店・量販店・加工業者等、異業種連携した地魚・未利用魚の付加価値向上</li> </ul>	長井町漁協 横須賀市大楠漁協 鎌倉・腰越 県下全域 小坪・長井
経営対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナ対策 各浜の直売所や地元密着量販店での販売促進支援、高級魚の販売促進</li> <li>・年間対象魚種と経営計画指導</li> <li>・季節別対象魚種のB/Cの整理（漁具・燃油等）</li> <li>・補助事業や制度資金活用促進</li> <li>・経営の多角化：季節別単一魚種依存の脱却</li> <li>・経費や初期投資の少ない漁具漁法の普及</li> <li>・新たな漁獲対象種の普及</li> </ul>	担当区全域

普及区	第二普及区第4担当区	担当普及員	樋田 史郎
-----	------------	-------	-------

### 1 管内漁業の概要

地理	藤沢市～二宮町
漁業協同組合 漁業者数	江の島片瀬漁協、藤沢市漁協、茅ヶ崎市漁協、平塚市漁協、大磯二宮漁協 269名（令和5年3月）
県域漁業者団体等	神奈川県漁業士会、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会、神奈川県定置漁業研究会
主要漁業種類及び対象魚種	定置網漁（アジ、サバ、イワシ類、カマス類、ブリ類、シイラ）、しらす船びき網（シラス）、刺網（ヒラメ、カマス類、シタビラメ）、地びき網漁、貝桁びき網漁（チョウセンハマグリ）、延縄漁（アマダイ、トラフグ）、アナゴ筒、採介藻（ワカメ、アカモク）、海藻養殖（ワカメ）などが営まれている。

### 2 管内漁業の課題と将来ビジョン

管内漁業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水温の上昇等によるワカメ等の海藻養殖期間の縮減、漁獲される魚介類の時期の変動等、環境の変化による漁獲量の減少</li> <li>・資源変動にともなう漁獲の不安定化</li> </ul>
---------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢周辺海域におけるチョウセンハマグリに関する分布状況の把握と、適切な資源管理や増殖指導</li> <li>・茅ヶ崎市、平塚市及び大磯町でのチョウセンハマグリ漁業（貝桁漁業及び鋤簾・マンガン漁業）の現状把握、普及、資源管理及び増殖指導</li> <li>・漁獲される魚介類の魚価の低迷</li> <li>・担い手対策に関しては新規就業者の確保とその後の定着</li> </ul>
将来ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域でブランド認定されている魚介類について、ブランド品としての適切な取り扱いの指導、およびPR強化による魚価の安定・向上を目指す。また、市町や地域の水産関係者、異業種と連携した名産品化や販売促進を図る。</li> <li>・低・未利用資源（イワシ類やサメ・エイ類）の活用や6次産業化を進め、経営の多角化を図る。</li> <li>・漁業者の経営安定につながる新たな取り組みについて支援・指導する。</li> <li>・既存漁業者とのマッチング等で、新規就業者の増加と定着の安定化を図る。</li> <li>・磯焼け対策や漁場保全に関して、漁業者が中心となって藻場の回復や活動を展開し、漁業者が漁場の維持・管理を推進することを図る。</li> </ul>

### 3 普及指導課題

課題	普及指導課題	指導対象
漁業就業者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就業支援と就業者の定着支援</li> <li>・担い手育成支援事業に関する情報の提供</li> <li>・漁業者や水産振興団体グループの活動支援</li> <li>・制度資金の指導</li> <li>・漁業士認定業務</li> </ul>	新規就業者 雇用人
資源管理及び資源管理型栽培漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南はまぐり（チョウセンハマグリ）の資源管理と増殖促進（小型種苗放流と漁獲制限）</li> <li>・ハマグリ分布状況調査による現状把握と資源利用に関する指導</li> </ul>	藤沢市漁協  平塚市・茅ヶ崎市漁協
増養殖漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝類、海藻の養殖・増殖への技術支援</li> <li>・種苗放流指導</li> </ul>	担当区漁協
漁場環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼け（海藻増殖の減退）への対策の情報提供および指導</li> <li>・貝毒プランクトン調査</li> </ul>	担当区漁協
付加価値向上による経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域でブランド認定されている魚介類の品質管理および販売方法に関する指導</li> <li>・未利用魚の名産品化にともなう異業種連携強化と地域活性化への支援</li> <li>・低・未利用魚等の有効活用に関する指導</li> </ul>	担当区漁協  茅ヶ崎市漁協  担当区漁協
経営対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな漁獲対象種等の普及と取組支援</li> <li>・経営に関する相談対応</li> <li>・制度資金の利用への支援</li> <li>・ブランド事業展開の効率化等への相談対応</li> </ul>	担当区漁協

普及区	第2普及区第5担当区	担当普及員	角田 直哉
-----	------------	-------	-------

#### 1 管内漁業の概要

地理	小田原市～湯河原町
漁業協同組合	小田原市漁協、岩漁協、真鶴町漁協、福浦漁協

漁業者数	240名（令和5年3月）
県域漁業者団体等	神奈川県漁業士会、神奈川県しらす船曳網連絡協議会、神奈川県定置漁業研究会
主要漁業種類及び対象魚種	定置網（さば類、マアジ、ぶり類）、刺網（ヒラメ、イセエビ、アンコウ）、一本釣り（あじ類、ぶり類）、裸もぐり（アワビ、サザエ）等が営まれている。

## 2 管内漁業の課題と将来ビジョン

管内漁業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型定置網主体に刺網等が行われ、漁獲物のほとんどが公設消費地市場の小田原魚市場に出荷されており、特に多獲性魚種は大漁になると価格の低下が著しくなり、非常に安価で取引される場合が多い。</li> <li>・需要に対して供給が不安定なため売り先が制限され、漁獲物の適正な価格形成を難しくしている。</li> <li>・魚市場への依存度が高く、6次産業化はほとんど進んでいない。また、練り製品や干物製造等地域の水産加工業による地元産原料の活用が行われているが、割合はまだ少ない。</li> <li>・平成30年の台風12号や令和元年の台風19号による定置網の破損等、近年大型化する台風による定置網の被害軽減対策の検討が必要である。</li> <li>・近年、台風等による波浪、冬季高水温および植食性生物の影響により藻場の消失が確認され、磯焼けによる磯根資源の減少が裸もぐり漁業者等の水揚げに大きな影響を及ぼしている（特にアワビ）。</li> <li>・岩漁協の岩ガキ養殖が令和元年6月に区画漁業権を取得し、令和3年度に初出荷した。今後、詳細なマーケティング調査や販促活動が必要。</li> </ul>
将来ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原漁港の水産物や観光客、飲食店等を「集める」機能と交通利便性を活用して地域経済の発展を図っていく。</li> <li>・小田原漁港に新たに荷捌き施設と水産物加工・交流促進施設が整備され、休市日の網締めによる供給量増強及び加工原料の確保、交流促進施設での小田原産鮮魚や加工品の販売、新たな流通ルートの構築等への対応強化等により、小田原漁港に水揚げされる水産物の付加価値向上を図る。</li> <li>・近年、大型化する台風による定置網の被害を軽減するため、防災技術の向上と、その普及を図る。</li> <li>・漁獲物の安定出荷を行うための蓄養や新たな養殖の導入等を図る。</li> <li>・未利用資源の活用促進と低価格魚種の価値向上により漁業収益の向上を目指す。</li> <li>・磯焼け対策や漁場保全に関して、漁業者が中心となって活動を展開し、自らが使用する漁場の維持・管理を推進する。</li> <li>・野菜残渣を利用したウニの養殖、二枚貝や海藻類等の無給餌養殖試験を実施し、漁業収益の向上を図る。</li> </ul>

## 3 普及指導課題

課題	普及指導課題	指導対象
漁業就業者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就業者の着業と定着化の支援</li> <li>・新技術導入・経営改善指導</li> <li>・漁業者グループの活動支援</li> <li>・制度資金の指導</li> <li>・漁業士認定業務</li> </ul>	新規就業者
資源管理及び資源管理型栽培漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アワビ、サザエやヒラメ、カサゴ等の適正な種苗放流手法の指導（放流場所までの運搬方法、放流適地の検討）</li> </ul>	刺網漁業者、採貝漁業者



漁場環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝毒プランクトン調査</li> <li>・魚礁設置・管理の指導、造成漁場の状況に関する情報提供</li> <li>・漁海況情報の提供と指導</li> <li>・無給餌養殖の推進（二枚貝・藻類）</li> <li>・磯焼け対策の推進（藻場造成・磯焼け原因生物の駆除）</li> </ul>	小田原市漁協 岩漁協 真鶴町漁協 福浦漁協
付加価値向上による経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原漁港整備計画に基づく各種事業への支援・指導（蓄養、加工、販売等）</li> <li>・漁協直営食堂・販売所の支援</li> <li>・ブランド化支援</li> <li>・低利用資源の利用促進（ムラサキウニの畜養・出荷試験、アイゴ等の付加価値販売試験）</li> </ul>	小田原市漁協 岩漁協 真鶴町漁協 福浦漁協
経営対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定置網の安全対策促進・操業合理化等の支援・指導</li> <li>・無給餌養殖への技術支援・指導（二枚貝）</li> <li>・地魚を活用した加工品開発、販売試験等の支援・指導</li> <li>・蓄養出荷への技術支援・指導</li> <li>・海藻類の利用促進（養殖含む）</li> </ul>	小田原市漁協 岩漁協 真鶴町漁協 福浦漁協 県定置漁業研究会

## V 漁業就業支援事業

若手漁業者を確保し、高齢化が進んでいる県内漁業を活性化させるため、漁業セミナー、漁業体験研修、就業マッチング会及び就業後の自立支援を行い、新規就業者を確保する。

### 1 漁業セミナー

漁業就業希望者を対象としたセミナーにおいて、若手漁業者とベテラン漁業者に講師を依頼し、発表を支援する。

### 2 漁業体験研修

漁業就業希望者を対象とした漁業体験研修を開催する。

## VI 磯焼け対策事業(藻場再生支援)

- ・漁業協同組合が実施するカジメ等海藻の食害生物の駆除事業へ技術支援を行う。
- ・フリー配偶体技術によるカジメ種糸を用いた藻場造成について支援する。
- ・フリー配偶体技術によるワカメ種糸のバックアップについて検討する。
- ・ワカメ養殖の食害対策の指導をするとともに、優良配偶体を確保する調査研究を支援し、養殖業の安定化を図る。
- ・海藻養殖の温暖化適応策について支援する。

## VII 沿岸資源管理・増養殖推進事業（二枚貝類の増養殖技術開発）

- ・他県で養殖実績のある種の養殖試験やワカメ養殖筏の貝類養殖施設としての活用などにより、養殖試験を実施する漁業者に対し二枚貝類の養殖技術を広め生産量の拡大を図る。また、チョウセンハマグリ等の漁業者が取り組む二枚貝類の増殖試験の技術指導を行い、二枚貝類の増殖による生産量の拡大を図る。
- ・県民に安全・安心な二枚貝を提供できるよう、貝毒原因プランクトンの出現状況の調査と貝毒検査を実施し、関係漁協に周知するとともに、HP等で県民に情報提供する。具体としては貝毒プランクトン調査は、月1回8か所（横浜市横浜港本牧ふ頭、横浜市柴漁港、横須賀市横須賀港深浦地区、横須賀市横須賀港平成地区、横須賀市横須賀港走水地区、横須賀市横須賀港浦賀地区、藤

沢市地先、茅ヶ崎市地先、平塚市地先、足柄下郡真鶴町岩地先)で、貝毒検査はトリガイ(横浜市横浜港本牧ふ頭)、マガキ(横浜市柴漁港、横須賀市横須賀港平成地区、横須賀市横須賀港走水地区、横須賀市横須賀港浦賀地区)、アサリ(横須賀市横須賀港深浦地区、横須賀市横須賀港走水地区)、チョウセンハマグリ(藤沢市)、イワガキ(足柄下郡真鶴町岩漁港)を対象として実施する計画である。